

所有にかかる総費用: 企業におけるMacとPC



ディベートの議題: MacはPCより価格を抑えられる

これまで10年以上、Macはその内蔵セキュリティ機能と全体的な使いやすさのおかげで、消費者の間でその人気を高めてきました。このような、消費者のMac需要の増加傾向は、企業においても同じことが言えます。企業も、同じメリットを見出しており、その環境にさらに多くのMacを導入することを選択しています。この成長トレンドは、Apple製品を使って成長してきた、若い、テクノロジー通の従業員によって、これからも継続していきます。

自社の従業員にMacを提供することとなると、必然的にコストの問題が浮き彫りになります。「Macは確かに素晴らしいけど、同じ値段を出せばPCを2台購入できる」というのがIT部門のもっぱら一般的な意見です。しかし、基本的サービス、ソフトウェア、管理、サポートを提供することに関連する総所有コストを比較すると、その結果は（驚くべきことかも知れませんが）PCに比べ、Macに軍配が上がります。しかし先行投資が大きくなるため、どのように対処すれば良いのでしょうか？IBM VP Fletcher Previnの2016 Jamf Nationユーザーカンファレンスのプレゼンテーションでは、この話題を一步進めて、企業神話におけるMacとPCの違いを調べています。

基本的サービス

電力
Officeライセンス
AD CAL
ソフトウェア配布



電力
Officeライセンス
AD CAL
ソフトウェア配布



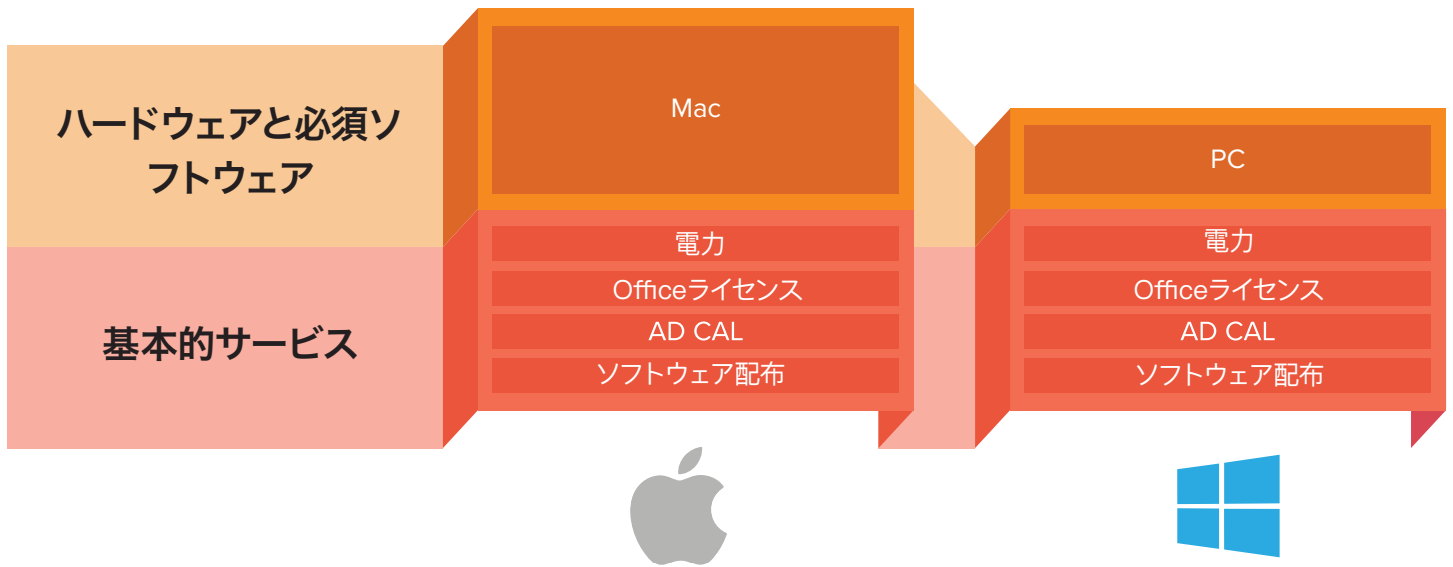
基本的サービス

企業ネットワーク上にあるすべてのコンピュータには、一連の基本的サービスが必要となります。特に、電力とインターネットは必要不可欠です。このコストは、基本的に両者で違いはありません。ほとんどの組織は、コンピュータをそのディレクトリにバインドします。最も一般的なものはMicrosoft Active Directoryです。Active DirectoryのClient Access License (CAL) にかかるコストは、MacもPCも同じです。MacはActive Directoryなどのディレクトリサービスに簡単にバインドでき、ディレクトリのクレデンシャルを使用してログインし、ネットワークドライブをマッピングできます。バインドプロセスは、イメージ化して手動で行うことも、管理システムを使用して自動で行うこともできます。

電力とディレクトリサービスのライセンス以外にも、ユーザーが仕事をするために必要な他のサービスのライセンスを取得する必要があります。これにはメールアカウント、場合によってはクラウドストレージ、チャットサービスへのアクセス、費用システム、コラボレーションツールなどが含まれます。これらのサービスの大部分はクラウドに移行したため、最新のWebブラウザへのアクセスが必要になります。これらのサービスはクラウドベースであるため、MacもPCも同じように動作し、ベンダーはプラットフォームにかかわらず同じ料金を請求します。

次に、ユーザーにはソフトウェアへのアクセスが必要です。Macには、ユーザーが必要とするほとんどのアプリケーションが付属していて、箱から取り出してすぐに使い始められます。WebブラウザのSafari、メール、カレンダー、Exchangeサポート付きの連絡先、Keynote、Pages、Numbersといった生産性向上アプリなどです。しかし、誰もがAppleの内蔵アプリに慣れているわけではないため、ほとんどの組織はMacOS用にネイティブに動作するMicrosoft Officeを導入することを選択しています。この時点で、Appleのコスト累計はPCのコスト累計よりも少し高くなります。数年前にOffice 365を導入して以来、MicrosoftはすべてのプラットフォームでOfficeのコストを標準化してきました。

最後に、すべてのユーザーに必要なソフトウェアに加えて、組織は、ユーザーにソフトウェアを展開するための配布ポイントを検討する必要があります。配布ポイントは、標準のファイル共有を実行するクラウドストレージまたはローカルサーバーの形式である可能性があります。どちらの場合も、MacとPCで、かかるコストは同じです。

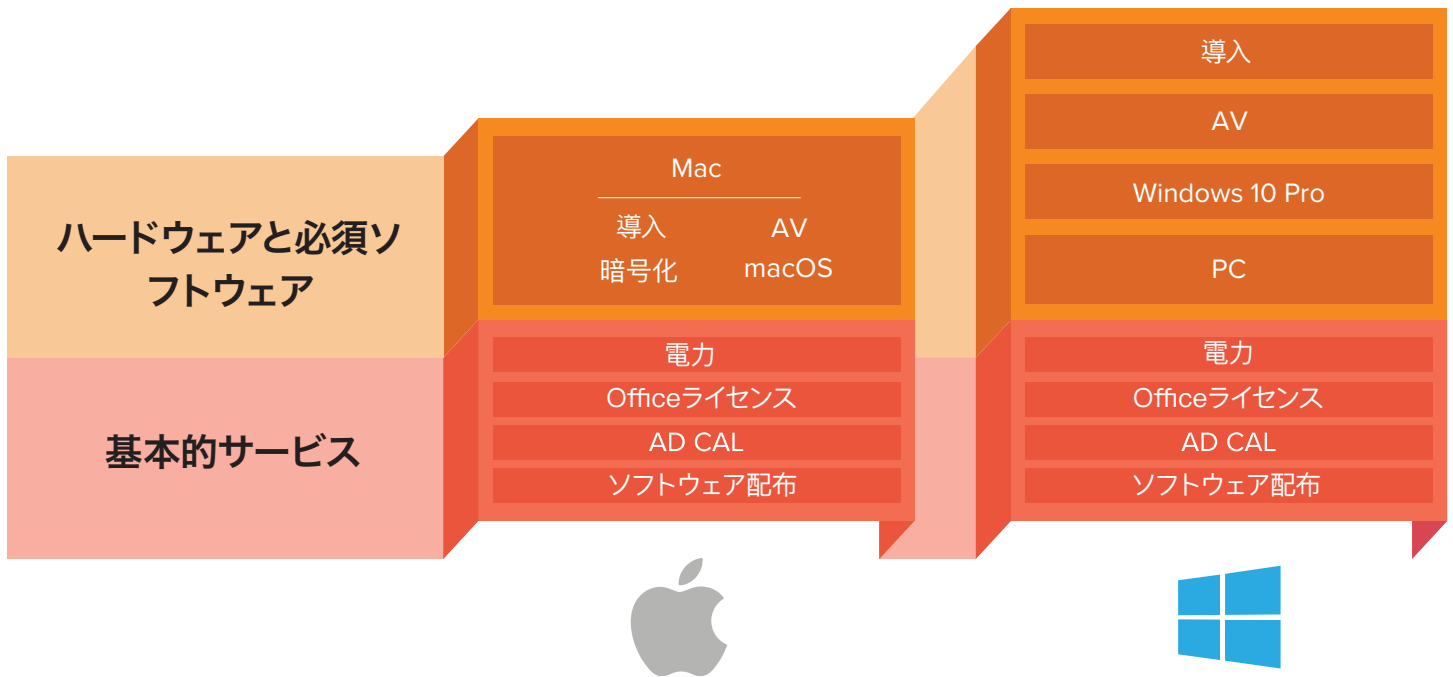


ハードウェア

通常、MacはPCよりコストがかかります。2017年1月現在、Appleの最も安価なノートパソコンの最低価格は999ドルで、必要に応じて価格は上昇します。Macに対するAppleの戦略は、常に、長い間持続するように設計されたハイエンド仕様のコンピュータを構築することでした。一方、PCは、価格に敏感なバイヤー向けにベンダーが低価格仕様を提供するため、価格が大幅に変動する可能性があります。このため、一部のPCはMacの半分のコストで提供されます。

この時点で議論をやめて、「当社にはMacを買う余裕がありません」と言うこともできます。しかし、セキュリティと展開に必要なすべての必須ソフトウェアについて掘り下げて検証した結果、Macのコスト上昇幅はほとんど奇跡であることが実証されました。





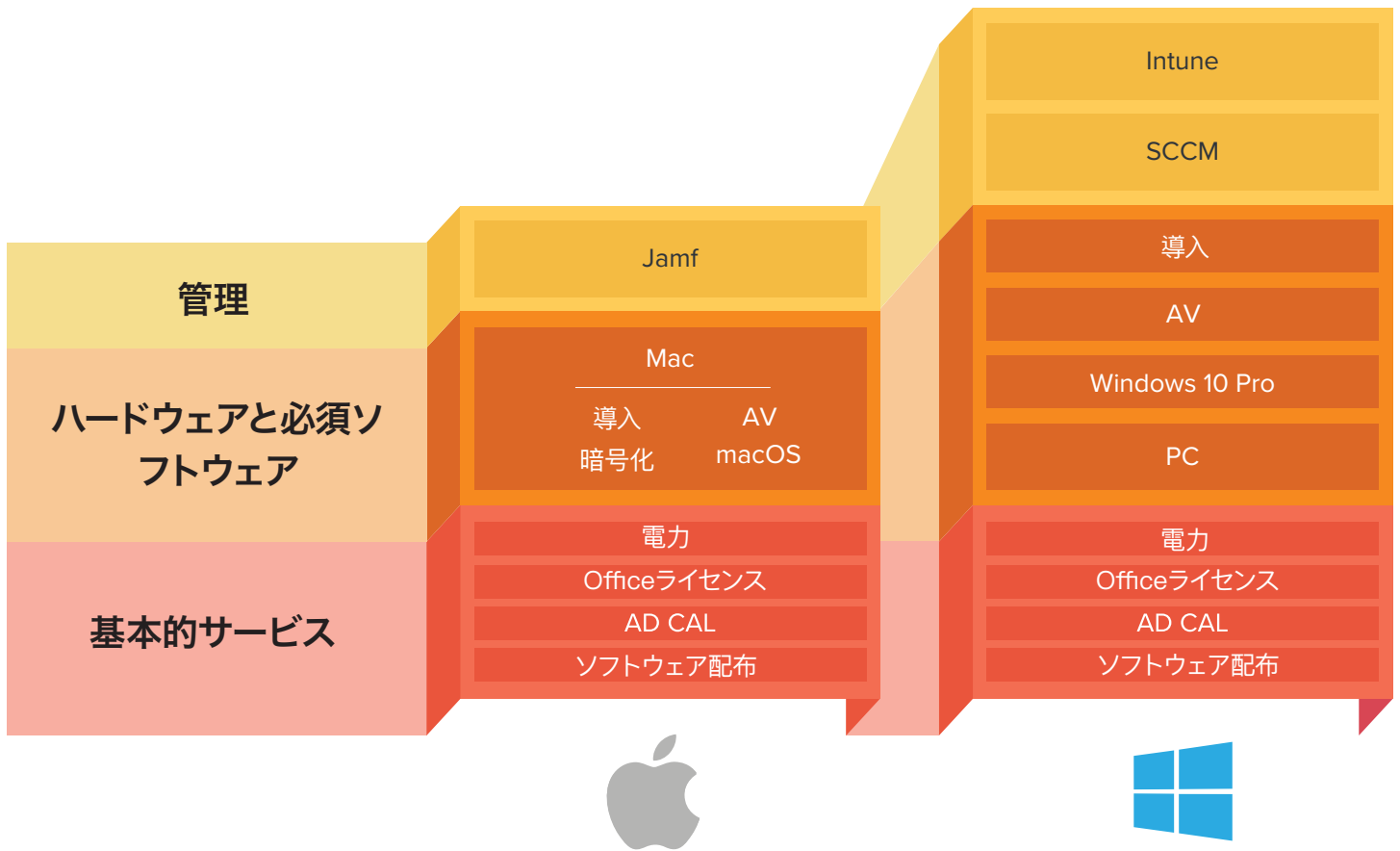
必須ソフトウェア

すべてのMacにはMacOSのコピーが無料で含まれています。AppleはデスクトップOSのバージョンを1つのみしか構築していないため、機能に矛盾がなく、ユーザーは一貫した経験を得ることができます。MacOSはドメイン (Active Directoryを含む) にバインドすることができ、フルディスク暗号化 (FileVault) の実施後出荷されるため、追加のソフトウェアを必要とせずに、デバイスの電源を入れた時点から、マルウェア (XProtect利用) から保護することもできます。

対照的にWindows 10では、企業組織が独自にこれらの機能を追加するか、「Pro」バージョンを購入するか、またはその両方を行う必要があります。MicrosoftはWindows 10 Proを199ドルで販売していますし、ハードウェアメーカーから名目上の価格で購入することもできます。Proバージョンでは、PCをドメインにバインドして完全なディスク暗号化 (BitLocker) を行う必要があります。さらに、ほとんどの組織では、Windowsにウイルス対策ソフトウェアを追加することで、PCを悩ませ続けているマルウェアやウイルスを防御しています。

最後に、組織には新入従業員にコンピュータを導入する方法が必要です。暗号化やマルウェアからの保護と同様、AppleはMacOS内蔵のソリューション、Device Enrollment Program (DEP) を提供しています。このプログラムは、組織がMac (およびiOSデバイス) を注文し、企業の所有としてフラグを立てることができます。

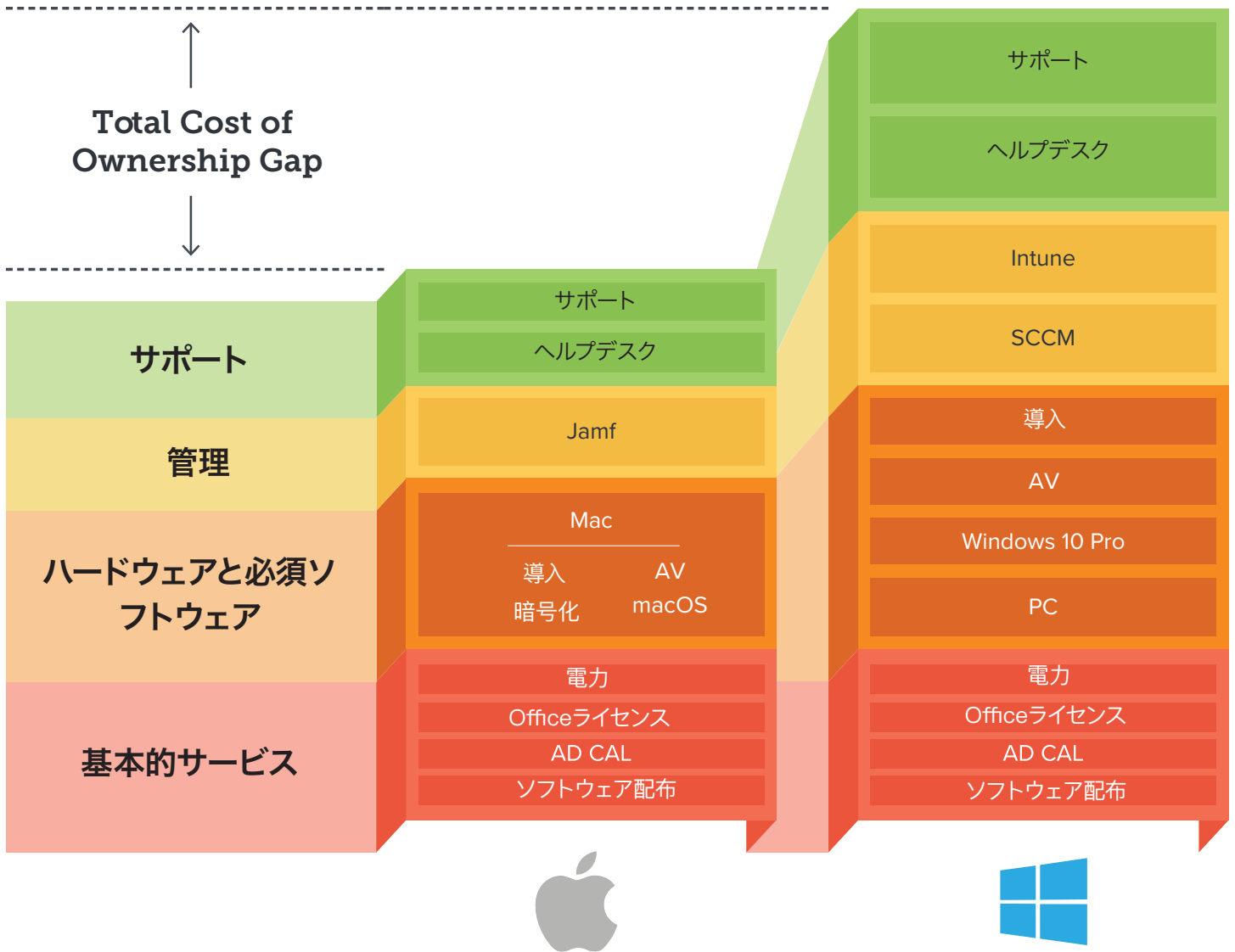
そのデバイスの初回起動時に、Appleのデータベースでシリアル番号が確認され、企業所有のデバイスの登録が強制実行されます。そこから、管理システムは追加のアプリケーションと設定を読み込みます。この方法は、従来のイメージングに比べ、時間とコストを大幅に節約します。Windows 10はDEPに匹敵する代替手段を提供していないため、組織は新しいユーザー用に準備するPCに、時間と費用をかけてイメージングソリューションを導入する必要があります。



管理

エンタープライズ環境のMacとPCの両方にとって、管理システムはなくてはならないものです。適切なデスクトップ管理システムを導入することで、IT部門は新しいデバイスを展開し、リモートで設定し、ソフトウェアを展開、更新し、豊富なインベントリを集め、セキュリティを確保することができます。Microsoftは、Windowsを管理するSystem Center Configuration Manager (SCCM) を提供しています。これは、Windowsで最も一般的な管理ツールです。さらにMicrosoftは、モバイルデバイス管理 (MDM) を追加することでSCCM機能を拡張するIntuneも作成しました。多くの組織が、Windowsを完全に管理するために、Microsoftから両方のツールを購入しています。

もう一度言います。Appleは違います。Appleは、iOSとMacOSに管理フレームワーク (MDM) を構築しています。Apple専用の管理会社であるJamfは、このフレームワークを、Macをリモート管理するためにインストールされた追加のソフトウェアとともに、活用することができます。Jamfは、MacOSの新規リリースをすぐにサポートします。組織は、Appleの展開プログラムとセキュリティツールを活用して、Mac管理機能の完全なエコシステムの恩恵を受けることができます。組織はJamf Self Serviceを使ってカスタムアプリケーションカタログを作成し、IT部門が承認したアプリや設定を、ユーザーが自分でMacにインストールできるようにもできます。新しいツールやコンテンツが利用可能になったらユーザーに通知し、可能な限り生産性を高めます。



サポート

総所有コストモデルの最終的な累計額が算出される前に、Macが安価であることがすでにわかります。基本的なサービス、ハードウェアとソフトウェア、管理ツール以外にも、ユーザーをサポートする必要があります。サポートスタッフとヘルプデスクのリソースは、組織のニーズに合わせて、必ずしも同じものではありません。Macユーザーが必要とするサポートが、PCユーザーよりも少ないことは、これまで長い間報告されています。

最近では、この2年間で約10万台のMacを導入したIBMが、この主張を裏付けるための具体的なデータを提供しています。IBMの報告によると、PCユーザーがサポートにかかるコ

ストは、Macユーザーと比べ、2倍となっています。さらに、オープンチケットのうち、直接訪問を必要とするMacユーザーは、全体の5%のみです。IT部門の訪問を必要とする厄介なチケットは、PCユーザーの場合は27%です。さらにIBMは、Windowsの管理に必要な人数に比べて、Macの管理には、ITスタッフのほんの一部しか配備していません。これらの統計は、企業内で最大数のMac導入のためのものですが、その傾向は、Macを環境に追加する小規模な組織にも当てはまります。



これまでの驚くべき発見をまとめましょう

Macは、ハードウェアだけを見るとPCよりも高価ですが、Macを配備する際にはさらに多くの要素を考慮する必要があります。重要なサービスのほとんどがクラウドに移行し、クロスプラットフォームになったため、コストはMacとPCの間の選択になりました。

Windowsの管理と保護について真剣に取り組んでいる組織であれば、これらの安価なPCのコストにソフトウェアとツールを追加する必要があります。反対に、Macでは、これらの機能はすでにOSに組み込まれています。最後に、管理ツールとサポートのコストを追加すると、組織の総所有コストの差が大きくなる可能性があります。実際、IBMはPCと比べて、Mac1台あたり273～513ドルもの費用を節約しています。

御社の環境のコンピュータにかかる実際のコストについて、すでに結論が出ています。

Macを使い始めることを真剣に考えて、大金を節約する準備ができたなら、ぜひ当社にご連絡ください。どちらにするかまだ迷われている場合は、コンピュータの選択プログラムについて詳細を確認し、これまで以上に従業員がMacに価値を見出している理由を発見してください。



www.jamf.com/ja

© copyright 2002-2017 Jamf. All rights reserved.

Jamf ProがMacとiOSの管理に与える影響の詳細については

jamf.com/jaをご覧ください